

入隊予定者が防衛省を見学

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、10月13日（木）、陸上自衛隊一般幹部候補生の来春採用予定者を対象とした「防衛省市ヶ谷見学ツアー」に、静岡地本からの採用予定者2名を引率して参加した。

このツアーは、採用予定者に実際の現場を見学してもらい防衛省・自衛隊の仕事について理解を深め、不安感を払拭し、入隊への強い意志を固めてもらうことを目的としている。

当日は、防衛省内の陸海空各幕僚監部の職場見学のほか、一般大卒を卒業し現在陸上幕僚監部で勤務している幹部自衛官の講話等を聴講した。見学ツアーに参加した採用予定者は、「市ヶ谷で勤務する自衛官の多さに驚いた」「安全保障政策に係る仕事に大変興味を持った」等自らの将来を見据えて、市ヶ谷で勤務することの意義についてそれぞれが理解を深めていた。

静岡地本は、今後も引き続き入隊予定者に対する現場研修等を積極的に行い、防衛省・自衛隊への理解や関心を高めるとともに、自らが選んだ道に対する強い意志と揺るぎない思いを固めてもらい、立派な幹部自衛官になれるよう引き続き支援していく。



学園祭で自衛隊を広報

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、11月5日（土）と6日（日）、常葉大学浜松キャンパス（浜松市）の学園祭「第29回キトルス祭」で広報活動を行った。学園祭は「魅せる」をテーマに、模擬店や朝市、アーティストライブ、寄席等多彩な催しが行われ、学生だけでなく地域住民も多く訪れるイベントである。

自衛隊は学内の一角に広報ブースを設置し、小型トラックや自衛隊の活動写真パネル展示、広報DVDの放映、缶バッジ作製体験やミニ迷彩服の試着体験等を行い、「自衛隊を魅せる」広報を実施した。

特にミニ迷彩服試着コーナーには多くの来場者で賑わい、自衛隊車両に乗って大学生や家族連れが記念撮影を行う姿もみられ、子供たちは自衛官気分を味わっているようで大変好評であった。

また、6日（日）は静岡地本マスコットキャラクター「しずぼん」も応援に駆けつけ、多くの子供達や来場者と写真撮影や握手を行い大学祭の人気者となっていた。

静岡地本は、今後もこのような機会を通じて地域住民や学生に自衛隊の仕事の重要性や活動内容について理解を深めてもらうとともに、前途ある大学生が自衛官志願につながるよう努力していく。

